



**axicon**  
THE BARCODE EXPERTS

## **Axicon 15000 シリーズ 1D/2D バーコード検証機**

**ユーザー マニュアル  
2020.04.27**

**MUNAZO INC.**

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中 6-9

神戸ファッションマート 10F

TEL078(857)5447

<http://munazo.jp> E-mail : [munazo@munazo.jp](mailto:munazo@munazo.jp)

## 製品保証についてのお願い

本製品につきまして、以下内容の製品保証を行っています。

### 保証期間と保証範囲

[保証期間]納入品の保証期間は、同梱された保証書内容の期間と致します。

[保証範囲]保証期間中に故障を生じた場合は、その機器交換、又は修理を以下の原因に該当する場合を除き、納入側の責において行います。

- 故障原因が設置環境下における機器特性の変化による。
- 故障原因が使用者側の不適当な取扱いならびに使用による。
- 故障原因が納入品以外の事由による。
- 原因がその他、天災・災害などで納入者側の責にあらざる場合。

但し、ここでいう保証は納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害の一切はご容赦いただきます。

**MUNAZO INC.**

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中 6-9

神戸ファッションマート 10F

TEL078(857)5447

<http://munazo.jp> E-mail : [munazo@munazo.jp](mailto:munazo@munazo.jp)

- ① 本書の内容に関しては将来予告無しに変更することがあります。
- ② 本書内において万一ご不審な点、誤り、記載漏れなどお気づきのことがありましたらご連絡下さい。
- ③ 運用した結果の影響について②項にかかわらず一切責任を負いかねますので予めご了承下さい。

## 本体及び周辺装置の取扱上のご注意

### バーコード検査機/検証機を正しくお使いいただくために

バーコード検査/検証機等は、光学/精密電子機器ですのでお取扱いには充分なご注意が必要です。下記内容のご注意点の遵守をお願いいたします。

#### ご注意点

- 熱の発生源の近く、直射日光の当る場所、電磁界、腐食性ガスのある環境、埃の多い所、使用周囲温度(0~40℃)/使用周囲湿度(30~80%)の範囲を超える場所に設置しないでください。但し、モーター駆動部を有している装置は、使用温度が5℃を下回る場所では正常に稼動しない場合があります。
- 本体を持運ぶときは、衝撃を与えないようにして下さい。
- 危険ですのでレーザー光等の光源部を、覗き込んだりを直視することは避けてください。
- 振動や衝撃の加わる場所での設置はしないで下さい。また、本体や電源コード等の上に物を載せないでください。故障による火災・感電の原因となります。
- 排熱のための通風口をふさがしないで下さい。故障による火災の原因となります。
- 水場付近では使用しないでください。
- 絶対に分解したり理・改造しないでください。火災や感電の原因となります。また、分解された場合には保証期間中であっても無償保証の対象外となります。
- 電源及び通信プラグを抜くときはコードを持たず、必ずプラグ部分を持って抜いてください。
- 付属の電源及び通信コード以外は使用しないで下さい。火災、感電、故障の原因となります。
- 本体から何かこげるとような匂いがしたり、異様な音がしたときは直ちに電源プラグを抜いてください。そのままご使用になると火災、感電の原因となります。
- **機器に影響を与える恐れのある電磁波等を発生し易い装置のそばには設置しないでください。**

#### 設置回避場所

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>● AC200V 以上のスイッチングを行う配電盤の周辺3m以内。</li><li>● 配線 AC200V ケーブル(完全シールドされていない)設置周辺3m以内。</li><li>● 配線 AC200V ケーブル(完全シールドされた)の切替部、例えばスイッチ BOX 等のケーブル軸の一部が露出した場所の周辺3m以内。</li><li>● 印刷機、エアコンその他 AC200V 以上の電源で動作する制御装置周辺3m以内。</li></ul> |
|---|
- 雷が近いときはすみやかに電源を OFF にし電源コードをコンセントから抜いて下さい。
  - 長時間使用しないときは、電池を取り出し電源プラグはコンセントから抜いて下さい。漏電、火災の原因となります。
  - プリント感熱記録紙の保管は、乾燥した冷暗所に保存してください。
  - セットアッププログラム等は、バックアップを取ることを強くお勧めいたします。

#### テクニカルサポート

お問い合わせの際、また修理品をお送りいただく際には以下の事項をお知らせ下さい。

- 製品の型式、シリアルナンバー
- 購入時期
- 故障の状況(問題点及び質問等の詳しい説明)
- 連絡先(電話、ファックス番号、E-mail、御社名・部署名・ご担当名)



#### メンテナンス




使用環境は適切な場所を選んで下さい。
















1. PC内にある検証データ等ソフトウェアはできるだけバックアップを取るようお勧めいたします。
2. PC15000 シリーズの周辺は常にクリーンに保たれる様にして下さい
















## 安全上のご注意(必ずお守りください)

この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。そのあと大切に保管し、必要なお読みください。

	<b>警告</b>	この表示は、取扱を誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	<b>注意</b>	この表示は、取扱を誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

	△記号は、 <b>注意</b> (危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。 (左の表示例は「警告または注意事項」があることを表しています)
	○記号は、 <b>禁止</b> の行為であることを告げるものです。 (左の表示例は「分解禁止」を表しています)
	●記号は、行為を <b>強制</b> したり、 <b>指示</b> する内容を告げるものです。 (左の表示例は「電源プラグをコンセントから抜く」ことを表しています)

 <b>警告</b>	
	強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。 故障、火災の原因となります。
	湿気が多い場所では絶対に使用しないでください。 感電の原因となります。
	引火、爆発の恐れがある場所では使用しないでください。 プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵が発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。
	濡らさないでください。 液体が中に入ると発熱・感電・故障などの原因となります。
	雷が鳴りだしたら、触れないでください。 落雷・感電の原因となります。
	使用中、保管時に、異臭・発熱・変色・変形など今までと異なるときは、使用しないでください。 発熱・破裂・発火させる原因となります
	分解・改造をしないでください。また、直接ハンダ付けをしないでください。 感電・火災・故障の原因となります。
	電源は国内の家庭用 AC100V コンセントを使用してください。 誤った電源で使用すると火災や故障の原因となります。
	充電端子や外部接続端子に導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れないようにしてください。また内部に入れないようにしてください。 ショートによる火災や故障の原因となります。
	万一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてください。 感電・発熱・火災の原因となります。
	電源プラグに付いたほこりは拭きとってください。 火災の原因となります。
	長時間使用しない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。 感電・火災・故障の原因となります。
	濡れた手で電源プラグ、コンセントに触れないでください。 感電の原因となります。
	火の中に投下しないでください。 漏液・発熱・破裂・発火させる原因となります。

 <b>警告</b>	
	ACアダプタは正しくお使いください。 発熱、発火などによる火災、故障、感電、傷害の原因となります。
	充電中は、充電機器を安定した場所に置いてください。また充電機器を布や毛布でおおったり、包んだりしないでください。 本体が外れたり、熱がこもり、火災・故障の原因となります。
	コンセントにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。 火災・故障・感電・傷害の原因となります。
	電池パック内部の液が目の中に入った場合は、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診断を受けてください。 失明の原因となります。
	電池パック内の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で洗い流してください。 皮膚に傷害をおこす原因となります。
	電源コードが傷んだら使用しないで下さい。 感電・発熱・火災の原因となります。
	漏液したり異臭がするときは、直ちに火気から遠ざけてください。 漏液した液体に引火し、発火・破裂の原因となります。
 <b>注意</b>	
	電源コードを傷つけないでください。 火災や感電の原因となります。 ● 電源コードを加工したり、傷つけたりしないでください ● 上に重いものを乗せたり、引っ張ったりしないでください ● 必ずアダプタ本体を持ってコンセントから抜いてください
	お手入れの際は、コンセントから電源プラグを抜いて行ってください。 感電の原因となります。
	湿気やほこりの多い場所や高温となる場所には、保管しないでください。 故障の原因となります。
	ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所には置かないでください。 落下して、故障やけがの原因となります。
	直射日光の強い場所や炎天下の車内など高温の場所で使用、放置しないでください。 変形・故障の元となります。またやけどの原因となることもあります。
	濡れた電池パックを充電しないでください。 発熱・発火・破裂の原因となります。

## 目次

<b>1. 紹介</b>	<b>7</b>
<b>2. 検証機の仕組み</b>	<b>8</b>
<b>3. キャリブレーション</b>	<b>9</b>
<b>4. メイン画面及び各メニュー&amp;アイコン</b>	<b>10</b>
<b>5. 検証機の操作</b>	<b>14</b>
<b>6. トリミング</b>	<b>17</b>
<b>7. 保存とスキャンファイルの使用及びレポートの印刷</b>	<b>18</b>
<b>8. 設定</b>	<b>19</b>

# 1. 紹介

PC15000 シリーズ検証機は、現在サポートされているバージョンの Windows (Windows7、Windows8、Windows10-32 ビットと 64 ビットバージョン) OS を搭載している PC で動作するように設計されています。

## 仕様とアプリケーション

PC15000 シリーズの視野は 95mmx70mm であり、異なるサイズ・種類のバーコードを検証するために使用することができます。

ソフトウェアは下記のシンボルをデコードすることができます:(但し、視野 95mmX70mm の範囲内のもの)

### 1次元バーコード:

EAN-8, EAN-13, UPC-a, UPC-E, Code 39, Code 93, Code 128, Codabar, ITF, MSI Plessey, GS1 Databar, Laetus Pharmacode。

### 2次元バーコード:

Data Matrix, GS1 Data Matrix, QR Code, GS1 QR Code。

アプリケーション標準: データコンテンツのチェックは、検証済みのすべてのシンボルで実行できます。これには、さまざまなヘルスケアアプリケーションに対応するチェックディジット、GS1 アプリケーション識別子とそれらのエレメント文字列の組み合わせが含まれます。

## 【性能/仕様】

分解能: 5MIL  
視野サイズ: 95mmX70mm  
ソフトウェア開口径: 5/6/8/10/16/12/20mil から自動選択。  
光源: LED (赤色光 660nm)  
サイズ(本体): 高さ 205mm x 幅 195mm x 奥行き 141mm  
重量(本体): 1.5kg  
電源: AC100V±5 50/60Hz

## 【PC 最低仕様】

プロセッサ: 最低 Pentium 4 以上, マルチコアプロセッサ 1.6GHz 以上  
メモリ: 最低 512MB RAM  
ハードディスク: 1.2GB (最低空き容量 100MB)  
ディスプレイ: 解像度 1024 x 768 ピクセル 最低 800 x 600 ピクセル  
ユーザーインターフェース: USB 2.0 以上  
PC オペレーションシステム:  
Windows7(32bit/64bit)/Windows 8(32bit/64bit)/ Windows 10(32bit/64bit)/

## ケースに含まれているもの:

PC15000 シリーズ 検証機  
ソフトウェア CD  
ユーザーガイド(英文)及びキャリブレーションカード  
クリーニング用の布

## ソフトウェアのインストール

CD を挿入するとインストール用プログラムが自動的に立ち上がります。  
もしそうならない場合は autorun.exe を起動してください。  
ソフトウェアが正常にインストールされましたら検証機をコンピュータに接続すると自動的に USB ドライバがインストールされます。

## ハードウェアのインストール

検証機の USB コードをパソコンの USB2 又は USB3 のポートに接続してください。  
PC15000 シリーズ検証機を接続する前にソフトウェアをインストールしてください。

## 2. 検証機の仕組み

検証機には 2 つのボタンがあり、どちらか一方を押して検証機をレディー状態にします。  
次に検証したいバーコードがメインウィンドウ内に表示されるように検証機を置いてください。  
位置調整が終了しましたら、再度ボタンを押すことで検証を開始します。  
検証が終了しましたら、検証結果が表示されます。  
尚、メインウィンドウ内に複数個のバーコードがある場合は、検証終了後に各バーコードが紫色の点線で囲まれていますので、検証結果を確認したいバーコードを選択(マウスでクリック)するとその検証結果が表示されます。

検証機が側面または逆さまに置かれている場合、外光の影響を最小限に抑えるように注意してください。

2つのボタンがありますので、検証機を横又は逆さまに置いたりする場合でも最も便利なボタンを使用できます。キーボードの Ctrl + G は、ボタンを押すのと同じことです。

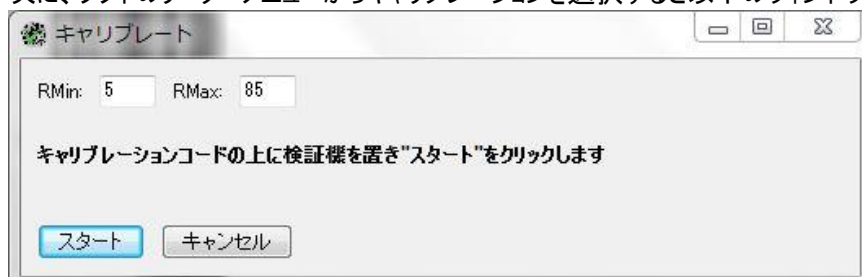
キャプチャ及びデコードされた画像は、スキャンファイル(png)として保存でき、後にいつでも再読込できます。

これらの方法や、イメージファイルの保存、検証レポートの保存の仕方についてはあとで説明しています。

### 3. キャリブレーション

初めて検証機を使用するとき、キャリブレーションが必要であることが要求されます。  
付属の「Axicon Verifier Calibration Sheet」を取り出し、フラットな場所に置いてください。  
検証機のボタンを押し、左上側の EAN-13 バーコードがメインウィンドウの中央に映るように置いてください。  
位置調整が終わりましたら再度検証機のボタンを押ししてください。  
(検証機が対象のバーコードを見つげると、紫白の点線で囲まれます。)

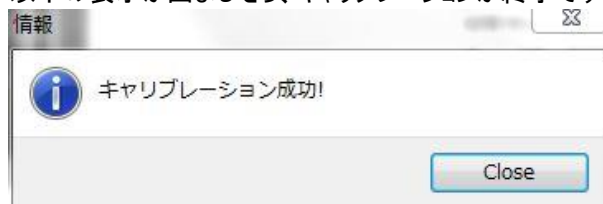
次に、ソフトのリーダーメニューからキャリブレーションを選択すると以下のウィンドウが表示されます。



ウィンドウに表示される RMax と RMin の数字がカードに記載されている数値と一致していることを確認し、スタートを押ししてください。

もし違っている場合は、設定メニューにあるキャリブレーションタブの数値を変更し、キャリブレーションを再開してください。

以下の表示が出ましたら、キャリブレーションが終了です。



キャリブレーション終了後、画面右側に表示されている検証結果内の“最大反射率”及び“最少反射率”の値がキャリブレーション時に設定した“RMax”及び“RMin”の値と一致していることを確認して下さい。(許容範囲は RMax 値は±5%、RMin 値は±3%以内)

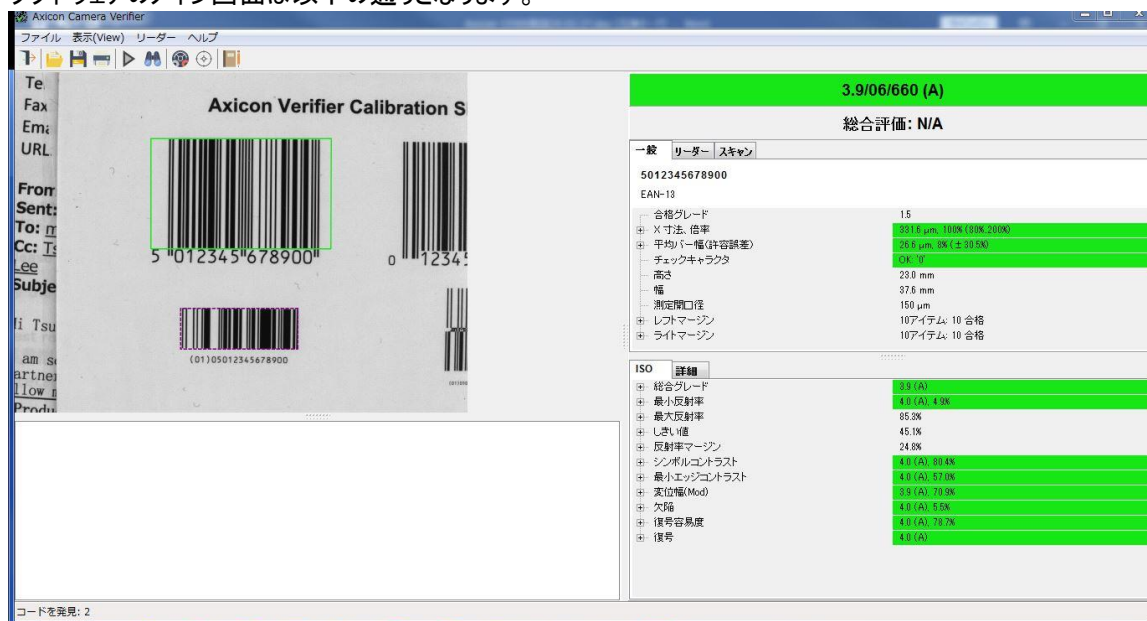
付属のキャリブレーションカードは、なるべく紫外線の照射や高温多湿な環境を避けたクリーンな場所に保存してください。

カードに破損の兆候が見られる場合 (たとえば、傷または色の変化)は 新しいカードを入手してください。



## 4. メイン画面及び各メニュー&アイコン

ソフトウェアのメイン画面は以下の通りとなります。

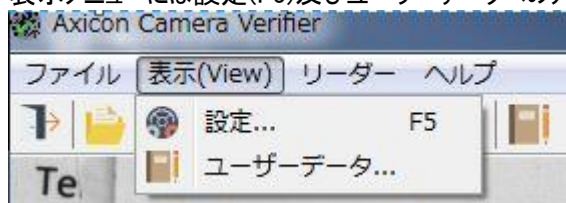


左上側には4つのメニューバーと9つのコマンドアイコンツールバーが配置されています。

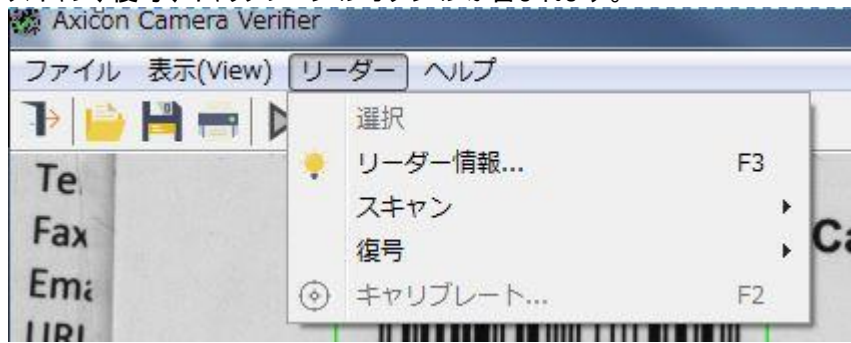
ファイルメニューには検証結果を保存、読込、検証レポートの作成及び印刷などのオプションが含まれます。



表示メニューには設定(F5)及びユーザーデータへのアクセスオプションが含まれます。



リーダーメニューにはどの検証機が操作可能かを選択するための選択オプション及びリーダー情報、スキャン、復号、キャリブレーションオプションが含まれます。



ヘルプメニューには、Axico ウェブサイトにアクセス、ソフトウェアのアップデート及びこの検証機に関する情報などのオプションが含まれます。



以下はツールバーにあるコマンドアイコンです：



アプリケーションを終了。(又は Ctrl+Q)



保存されたバーコードイメージを読み込む。(又は Ctrl+O)



現在のイメージと検証レポートを保存する。(又は Ctrl+S)



印刷。(又は Ctrl+P)



視野内のバーコードイメージを取り込む。  
検証機が接続されている場合はオレンジ、そうでない場合はグレー。  
スキャンしている間は一時中止アイコンに変わります。



検証機からのイメージの取り込みを停止する。



取込んだイメージ内のバーコードをデコードする。これはバーコードがデコードされている間停止アイコンに変わります。



バーコードを探すのを中断する。



設定変更。(又は F5)



検証機をキャリブレートする。(又は F2)



このスキャンのユーザー定義のデータを表示及び編集。

右上のウィンドウでは、検証の全体的な結果を示します。グレードの表示形式 n.n/aa/www (X)では n.n は ISO/IEC グレード、aa は測定開口径、www は検証に使用する光源波長をナノメートルで、そして X は ANSI グレードに相当します。

<b>3.9/06/660 (A)</b>
<b>総合評価: N/A</b>

このウィンドウには、“一般”、“リーダー”、“スキャン”の3つのタブがあります。  
(一般タブ)

一般	リーダー	スキャン
5012345678900		
EAN-13		
合格グレード	1.5	
⊕ X寸法、倍率	331.6 μm, 100% (80%, 200%)	
⊕ 平均バー幅(許容誤差)	26.6 μm, 8% (± 30.5%)	
--- チェックキャラクタ	OK: '0'	
--- 高さ	23.0 mm	
--- 幅	37.6 mm	
--- 測定開口径	150 μm	
⊕ レフトマージン	10アイテム: 10 合格	
⊕ ライトマージン	10アイテム: 10 合格	

(リーダータブ)

一般	リーダー	スキャン
シリアル番号	15706	
イメージ寸法	2592 x 1944	
ファームウェア	0.05	
工場出荷時の校正	2020/01/03 23:55	
ユーザーキャリブレーション	2020/02/17 17:08	

(スキャンタブ)

一般	リーダー	スキャン
スキャン時間		2020/02/21 10:48
復号時間		2020/04/27 13:34
ソフトウェアバージョン		0.15.20-g53f7ab65:0x-fixes (2020/04/25 0:49)
ユーザー名		MUNAZO-PC002
コンピュータ名		MUNAZO-PC002-PC
OSバージョン		6.1.7601.24545

右下のセクションには“ISO”、“詳細”の2つのタブがあります。

(ISO タブ)

ISO	詳細
+	総合グレード 3.9 (A)
+	最小反射率 4.0 (A), 4.9%
+	最大反射率 85.3%
+	しきい値 45.1%
+	反射率マージン 24.8%
+	シンボルコントラスト 4.0 (A), 80.4%
+	最小エッジコントラスト 4.0 (A), 57.0%
+	変位幅(Mod) 3.9 (A), 70.9%
+	欠陥 4.0 (A), 5.5%
+	復号容易度 4.0 (A), 78.7%
+	復号 4.0 (A)

(詳細タブ)

一次元シンボルだけを対象とした各走査線結果の内訳を表示します。

ISO	詳細
+	スキャン情報 1 16アイテム: 12 合格
+	スキャン情報 2 16アイテム: 12 合格
+	スキャン情報 3 16アイテム: 12 合格
+	スキャン情報 4 16アイテム: 12 合格
+	スキャン情報 5 16アイテム: 12 合格
+	スキャン情報 6 16アイテム: 12 合格
+	スキャン情報 7 16アイテム: 12 合格
+	スキャン情報 8 16アイテム: 12 合格
+	スキャン情報 9 16アイテム: 12 合格
+	スキャン情報 10 16アイテム: 12 合格

左下のセッションには、設定画面内のプラグインメニューで選択されたシンボルの分析に関連する詳細が表示されます。

GS1 小売						
05012345678900						
状況	エレメント	値	説明	注記	エラー	警告
合格	グレード	3.6 (A)	グレードは少なくとも 1.5 (C) でなければならない			
合格	測定開口径	150 μm (06)	必要な測定開口径: 150 μm (06)			
合格	X 寸法	255 μm	許可されたX寸法範囲: 249 μm から 660 μm	*		
N/A	バーの高さ	8.5 mm	バーの高さは少なくとも 11.7 mm が必要			

## 5. 検証機の操作

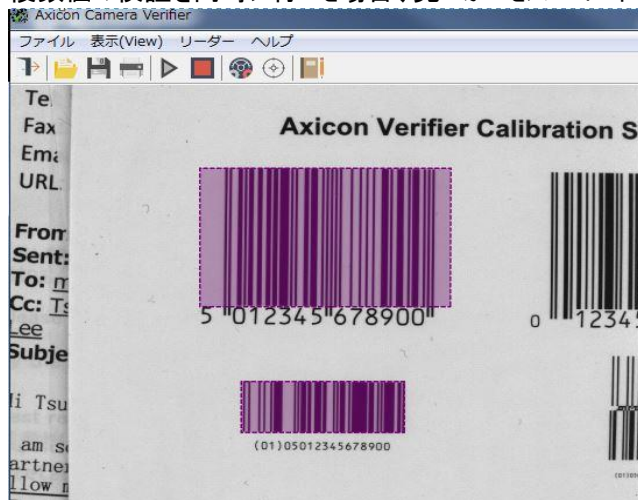
検証機が接続されていることを確認し、ソフトウェアを起動してください。

検証機のボタンを押すか、▶ アイコンを押します。次に、検証したいバーコードの上に検証機を配置します。

ウィンドウの下部にあるステータスバーに“スキャン中”とのメッセージが表示されます。

位置調整が終わったら、検証ボタンをもう一度押すか 🔍 アイコンを押して、復号を開始します。

複数個の検証を同時に行った場合、見つかったバーコードそれぞれの周りに紫色のボックスを描きます。



その一つを選んでクリックすると、結果が表示されます。

項目	値	説明	注記	エラー	警告
状況	GS1 小売				
5012345678900					
グレード	3.9 (A)	グレードは少なくとも 15 (C) でなければならない			
測定開口径	150 μm (08)	必要な測定開口径: 150 μm (08)			
X寸法	332 μm	許可された寸法範囲: 249 μm から 660 μm	*		
バーの高さ	23.0 mm	バーの高さは少なくとも 23.0 mm が必要			

ISO	詳細	値
総合グレード		3.9 (A)
最小反射率		3.0 (A): 4.9%
最大反射率		85.2%
しきい値		45.1%
反射率マージン		24.8%
シンボルコントラスト		4.0 (A): 30.4%
最小エッジコントラスト		4.0 (A): 57.0%
実位幅 (Mod)		3.9 (A): 79.9%
欠陥		4.0 (A): 5.5%
復号容易度		4.0 (A): 73.7%
復号		4.0 (A)

他のバーコードをクリックすることでそれぞれの結果を確認することができます。

選んだバーコード上でクリックをすると、拡大されます。

3.9/06/660 (A)  
総合評価: 合格

5012345678900  
EAN-13

合格グレード	15
X寸法, 倍率	321.5 μm, 100% (80% 200%)
平均バー幅(許容誤差)	26.6 μm, 2% (4.305%)
チェックキャラクター	OK (0)
高さ	23.0 mm
幅	37.6 mm
測定開口径	15.0 μm
左マージン	10アイテム: 10 合格
右マージン	10アイテム: 10 合格

ISO 詳細

合格グレード	3.9 (A)
最小反射率	4.0 (A) 4.2%
最大反射率	85.3%
しきい値	45.1%
反射率マージン	24.8%
シンボリックコントラスト	4.0 (A) 30.4%
最小エッジコントラスト	4.0 (A) 57.0%
変位幅(Mod)	3.9 (A) 70.2%
欠陥	4.0 (A) 5.5%
読取容易度	4.0 (A) 73.7%
番号	4.0 (A)

状況	エレメント	値	説明	注記	エラー	警告
合格	グレード	3.9 (A)	グレードは少なくとも 15 (C) でなければなりません			
合格	測定開口径	15.0 μm (08)	必要な測定開口径: 15.0 μm (08)			
合格	X寸法	322 μm	許可された寸法範囲: 249 μm から 660 μm	*		
N/A	バーの高さ	23.0 mm	バーの高さは少なくとも 23.0 mm が必要			

コードを再見: 2

1次元バーコードは、ISO/IEC15416 で指定された 10 か所の異なる走査線を使用して検証され、検証グレードはこれらの測定値の平均に基づいて算出されます。

ISO タブを選択し、各パラメータの名前を順番にクリックすると、検証ウィンドウに表示されるバーコードを横切る走査線が表示されます。

3.9/06/660 (A)  
総合評価: 合格

5012345678900  
EAN-13

合格グレード	15
X寸法, 倍率	321.5 μm, 100% (80% 200%)
平均バー幅(許容誤差)	26.6 μm, 2% (4.305%)
チェックキャラクター	OK (0)
高さ	23.0 mm
幅	37.6 mm
測定開口径	15.0 μm
左マージン	10アイテム: 10 合格
右マージン	10アイテム: 10 合格

ISO 詳細

合格グレード	3.9 (A)
最小反射率	4.0 (A) 4.2%
最大反射率	85.3%
しきい値	45.1%
反射率マージン	24.8%
シンボリックコントラスト	4.0 (A) 30.4%
最小エッジコントラスト	4.0 (A) 57.0%
変位幅(Mod)	3.9 (A) 70.2%
欠陥	4.0 (A) 5.5%
読取容易度	4.0 (A) 73.7%
番号	4.0 (A)

状況	エレメント	値	説明	注記	エラー	警告
合格	グレード	3.9 (A)	グレードは少なくとも 15 (C) でなければなりません			
合格	測定開口径	15.0 μm (08)	必要な測定開口径: 15.0 μm (08)			
合格	X寸法	322 μm	許可された寸法範囲: 249 μm から 660 μm	*		
N/A	バーの高さ	23.0 mm	バーの高さは少なくとも 23.0 mm が必要			

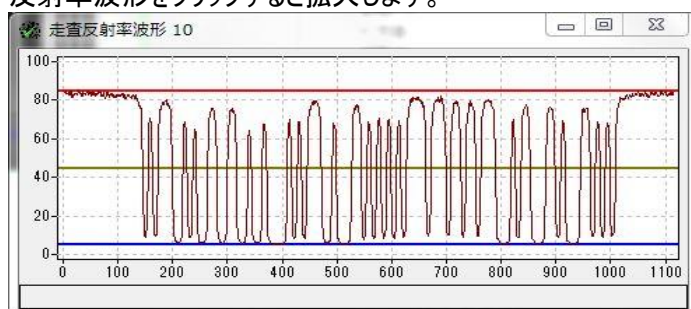
コードを再見: 2

これらは特定の走査線に対して合格(緑)または不合格(赤)によって色が変わります。

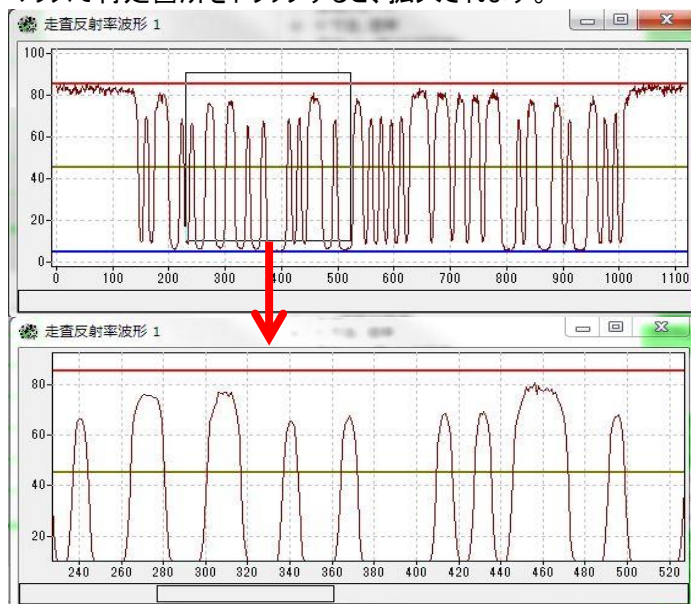
1次元バーコードの走査反射率波形を取得するには詳細タブをクリックし、個々のスキャンを選択し、続けて特定のスキャン情報（1～10）を、走査反射率波形(SRP)は、スキャン情報の結果の下部に表示されます。

ISO	詳細	
☐	スキャン情報 1	
	16アイテム: 12 合格	
	総合グレード	4.0 (A)
	X寸法、倍率	331.2 μm, 100% (80%, 200%)
	最小反射率	4.0 (A), 5.1%
	最大反射率	85.5%
	しきい値	45.3%
	反射率マージン	25.0%
	シンボルコントラスト	4.0 (A), 80.4%
	最小エッジコントラスト	4.0 (A), 57.6%
	変位幅(Mod)	4.0 (A), 71.6%
	欠陥	4.0 (A), 6.6%
	復号容易度	4.0 (A), 78.8%
	復号	4.0 (A)
	平均バー幅(許容誤差)	26.4 μm, 8% (± 30.5%)
	レフトマージン	15.8x (min 11)
	ライトマージン	11.7x (min 7)
	走査反射率波形 1	

反射率波形をクリックすると拡大します。

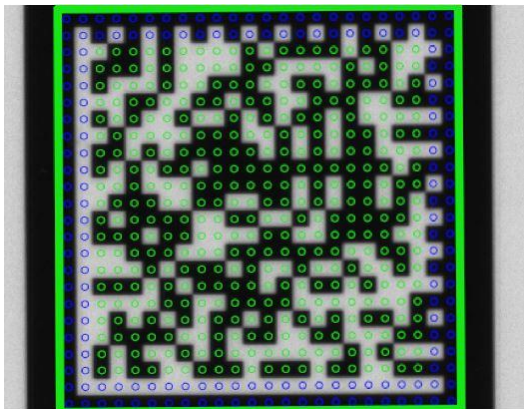


マウスで特定箇所をドラッグすると、拡大されます。



再度、左クリックすると通常の SRP に戻ります。

2D シンボルを検証すると、ISO タブのみが表示されます。  
複数のシンボルがある場合は、それぞれをクリックして結果を確認します。  
枠線は、シンボルが合格であったのか不合格であったのかを示すために色が変わります。  
選択したシンボルをクリックすると拡大します。  
各モジュールがどのように評価されたかを確認するには、いずれかのパラメータの名前をクリックします。  
各セル上の円のサイズは測定開口径を示し、色の変化はその特定のパラメータに関連する合否を表示します。青は、これらすべての表示の中立の色です。



## 6. トリミング

検証視野内に、複数のバーコードやバーコード以外の長方形のエッジを持つ他の画像が含まれる複雑なサンプルを検証する場合、ソフトウェアがバーコードを認識するのに時間がかかる事があります。画像をトリミングすることにより、必要なバーコードだけを認識し検証のスピードアップが可能です。また、このトリミングにより、スキャンファイルのサイズも小さくなります。

検証を行う時にはバーコードが視野の中心に近い位置になるように、検証機を置き直してください。次にバーコードの外側の上を左クリックすると、長方形のトリミングボックスが中央に描かれます。(この時、ボックスの大きさが不十分な場合、もう一度クリックする必要な場合があります)

そこで ▶ をクリックするか、検証機のいずれかのボタンを押します。

トリミングボックスは全体の画像になり、ボックス内の画像はデコードされ、そして検証結果が右側に表示されます。それ以外の視野は無視されます。

イメージパネル内を右クリックするとボックスが削除され、左クリックで新しいトリミングボックスが作成されます。



## 7. 保存とスキャンファイルの使用及びレポートの印刷

検証済みバーコードのシンボルの画像、検証結果及びプラグイン結果は保存できます。

これは、ファイルメニューの“検証結果を保存”をクリックして行います。

また、保存されたファイルを読み込みすることもできます。

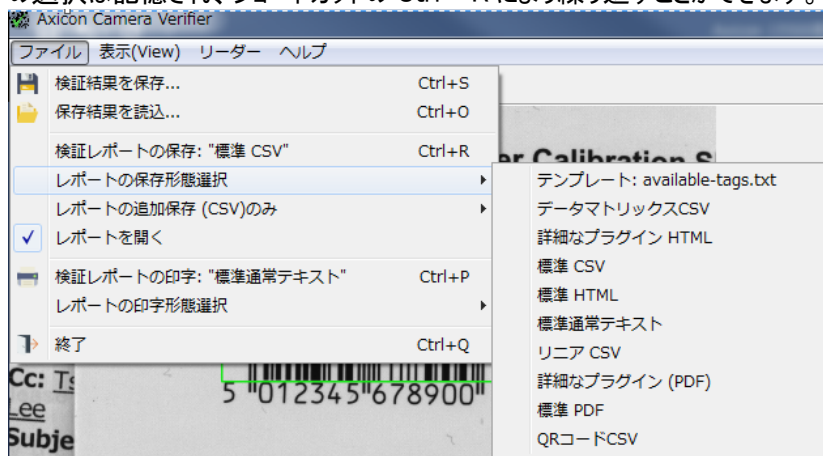
これは、ファイルメニューの“保存結果を読み込む”をクリックして行います。



また、検証レポートは、.csv、.pdf、.html、または .txt 形式で保存できます。

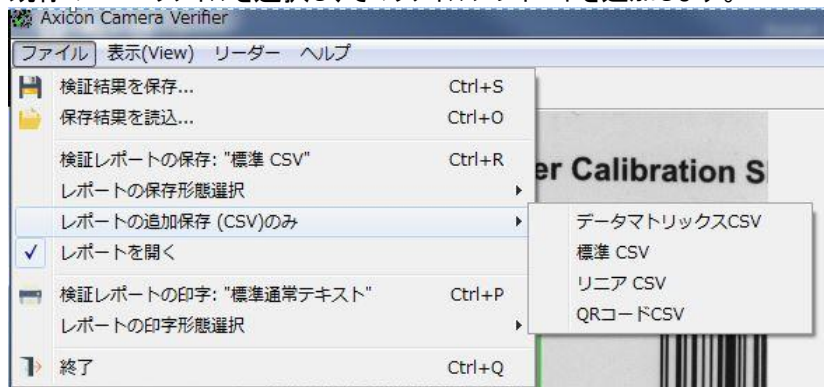
また、保存せずに印刷したりできます。

ファイルメニューから“レポートの保存形態選択”を選択し、リストから必要なフォーマットを選んでください。この選択は記憶され、ショートカットの Ctrl + R により繰り返すことができます。。



作成時にレポートを自動的に開く場合（たとえば、レポートを印刷する必要がある場合など）、“レポートを開く”のボックスにチェックを入れてください。

“レポートの追加保存”を使用して、検証レポートを追加できます。  
既存の CSV ファイルを選択し、そのファイルにレポートを追加します。



## 8. 設定

検証機には、さまざまなコンフィギュレーション設定があります。  
設定画面を表示するには表示メニューの“設定”をクリックしてください。

### 基本設定:

“不合格”、“警告”、“合格”の色の設定、言語の選択及びメートル法、インチ単位の設定  
及び合格グレードの設定が可能です。  
また、ツールバーの外観のサイズを変更したり、テキストを表示したりすることもできます。



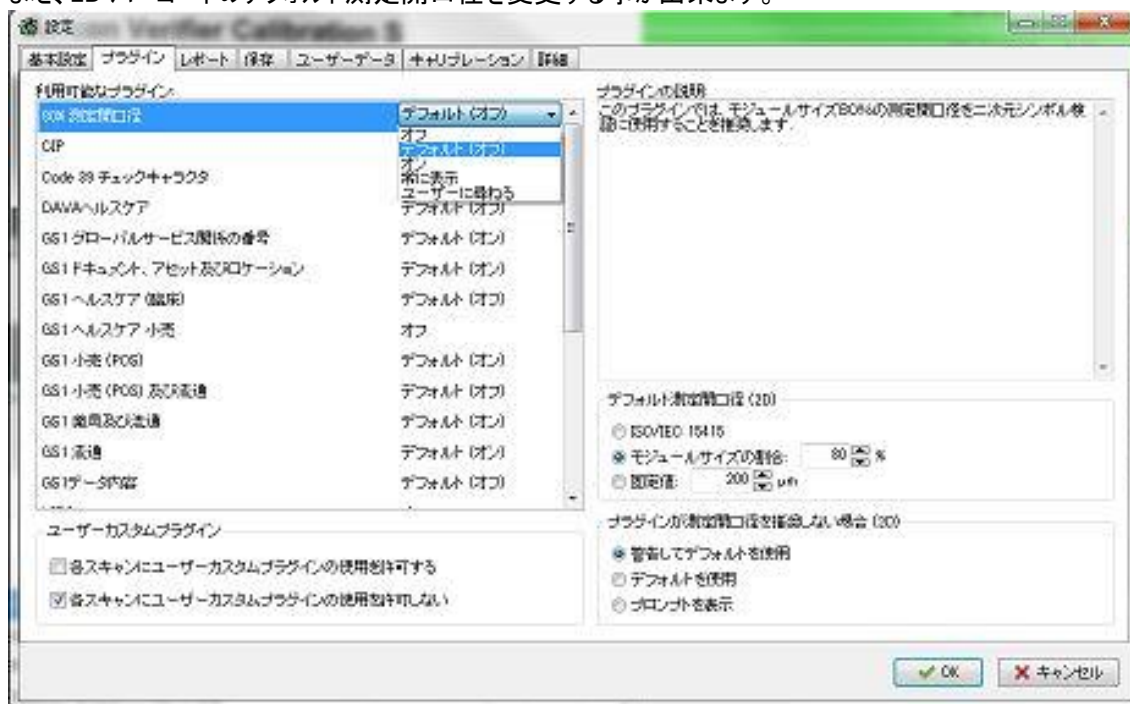
## プラグイン:

シンボルのデータコンテンツ、寸法、及び特定のアプリケーションによって定義された様々なチェック項目を選択するために使用されます。

例えば、アプリケーション識別子(AI)の正しい組み合わせをチェックするGS1 データコンテンツ、バーコードの種類とサイズをチェックするGS1 小売(POS)などが含まれます。

デフォルトでは、多くのプラグインはオフになっています。これを変更するには、必要なプラグインを選択し、ドロップダウンリストから選択します。

また、2D バーコードのデフォルト測定開口径を変更する事が出来ます。



## レポート:

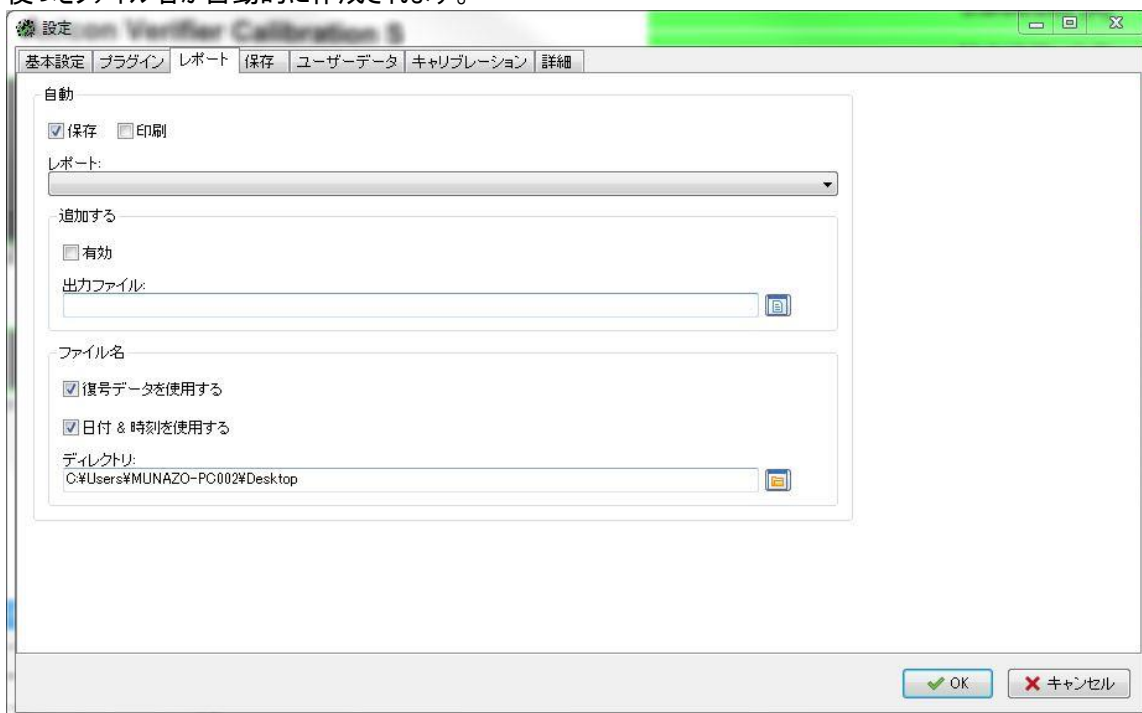
この画面では、自動保存及び自動印刷を有効にすることができます。

作成するレポートファイルの種類を選び、データを保管する出力ファイルを選択してください。

“復号データを使用”をチェックした場合、復号されたデータを使用したファイル名が自動的に作成されます。

“日付&時刻を使用”をチェックした場合、日付と時間を使用したファイル名が自動的に作成されます。

“復号データを使用と日付と時刻を使用”の両方のボックスをチェックした場合、復号されたデータと日時を使ったファイル名が自動的に作成されます。



## 保存:

すべてのスキャンファイルの自動保存を有効にすることができます。

“有効”にチェックを入れて、ディレクトリより保存場所を選択してください。

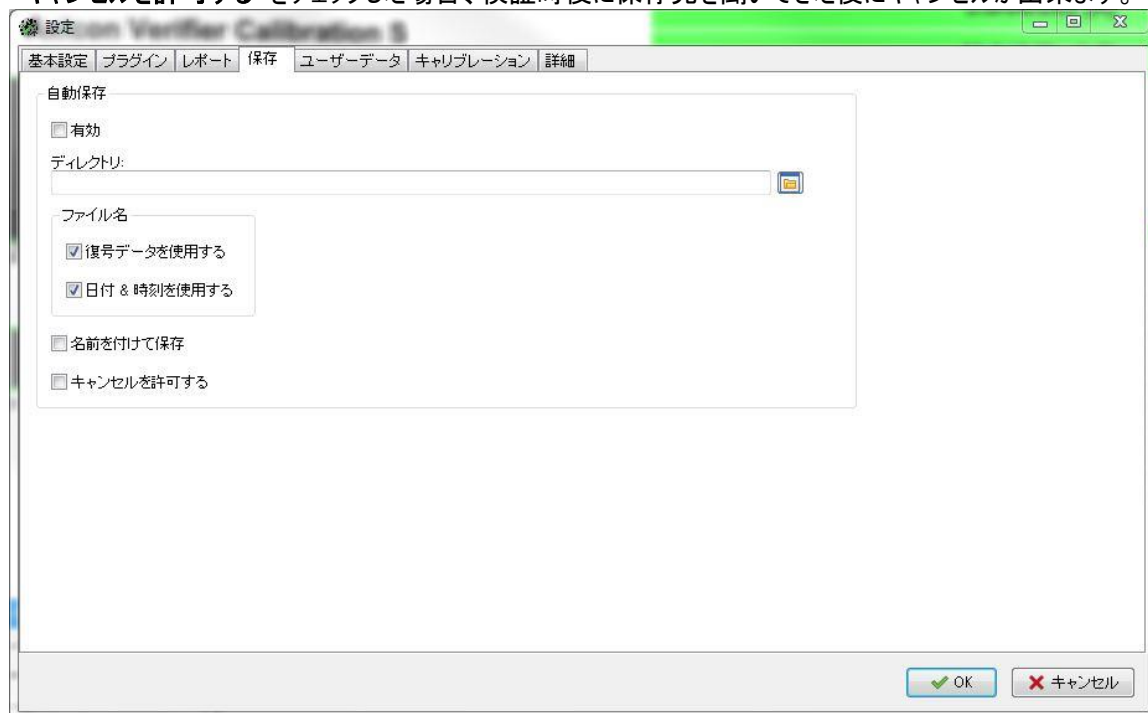
“復号データを使用”をチェックした場合、復号されたデータを使用したファイル名が自動的に作成されます。

“日付&時刻を使用”をチェックした場合、日付と時間を使用したファイル名が自動的に作成されます。

“復号データを使用と日付と時刻を使用”の両方のボックスをチェックした場合、復号されたデータと日時を使ったファイル名が自動的に作成されます。

“名前を付けて保存”をチェックした場合、検証後に保存先を聞いてきます。

“キャンセルを許可する”をチェックした場合、検証後に保存先を聞いてきた後にキャンセルが出来ます。

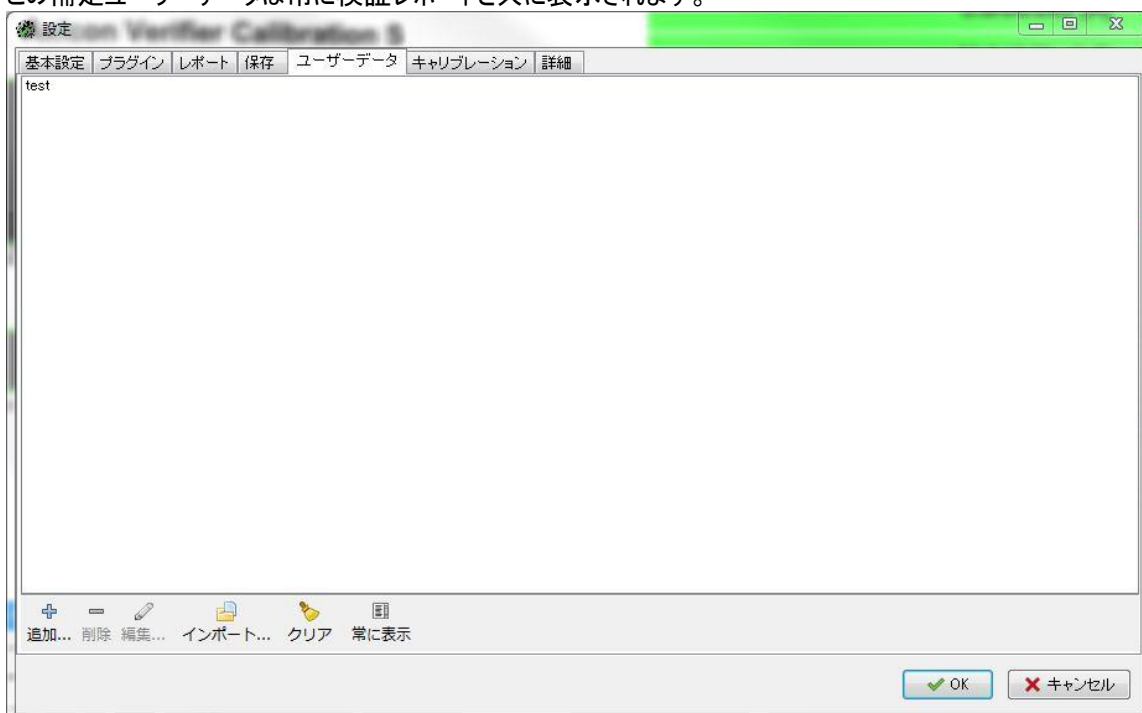


### ユーザーデータ:

ユーザーデータを使用すると、PC15000 シリーズのソフトウェアをプログラムし、検証が行われているときに質問を

する、回答を収集するなど、検証レポートと共にこれらを保存することができます。

この補足ユーザーデータは常に検証レポートと共に表示されます。

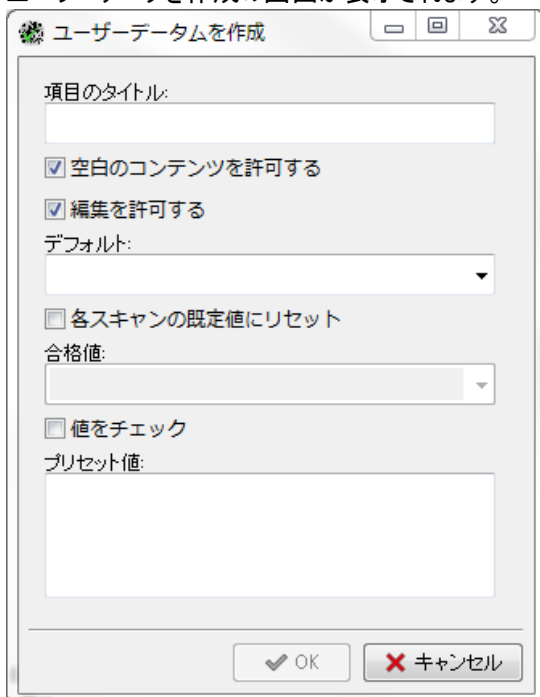


### ユーザーデータの設定:

設定ウィンドウのユーザーデータタブをクリックしてください。

ユーザーデータ項目を追加するには、画面の左下の(+)印を押してください。

ユーザーデータを作成の画面が表示されます。



### キャリブレーション:

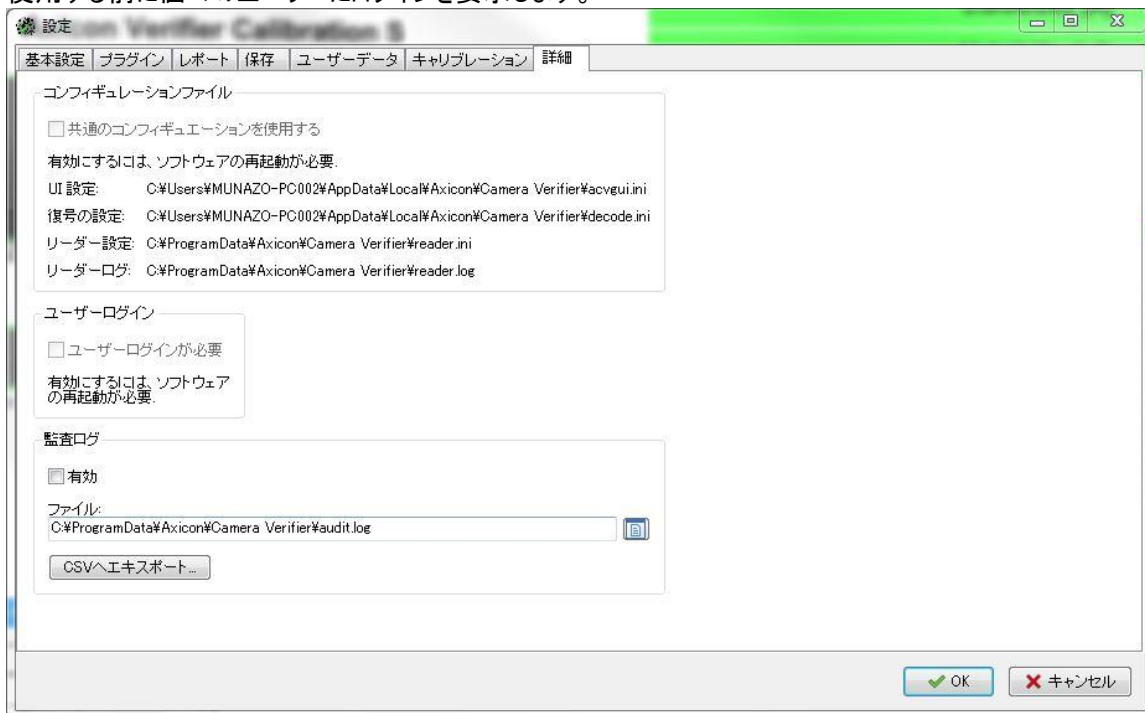
このウィンドウでは、ユーザーはキャリブレーション用の最小(RMin)と最大(RMax) 反射率値を入力することができます。



また、キャリブレーションを督促通知までの日数を変更し、キャリブレーションの有効期限が切れたときにスキャンを許可するかしないかの選択もできます。

### 詳細:

このウィンドウでは、他のユーザーが変更できないように検証機のすべての設定をロックし、ソフトウェアを使用する前に個々のユーザーにログインを要求します。



Axicon カメラ検証機ソフトウェアの設定は、各ユーザー毎に構成できます。  
つまり、もし複数のユーザーが同じ PC と検証機を使用する場合、自分のユーザー名とパスワードでログインすれば、それぞれのユーザーが検証機の自己の使用に合わせて設定を変更できます。

キャリブレーションの記録などの検証機の詳細な設定はすべてのユーザーによって使用されるため、ユーザーの変更によって検証機を再度キャリブレーションする必要はありません。

このウィンドウを使用するには共通構成ディレクトリにある 'users.ini' ファイルの設定を変更する必要があります。

このファイルには通常、共通の構成とユーザーログイン設定を無効にする読み取り専用属性があります。これは、誤ってコンピュータ上のすべてのユーザーに影響を与えるような設定変更することを防ぐためです。

C:\ProgramData\Axicon\Verifier へ移動し、ツールに移動し、“users.ini”を右クリックし、“プロパティ”を選択し、“読み取り専用”ボックスのチェックを外し、“OK”をクリックします。  
共通のコンフィギュレーション及びユーザーログインオプションは設定ダイアログの“詳細設定”ウィンドウで有効になります。

“共通のコンフィギュレーションを使用”ボックスにチェック入れると、そのコンピュータを使用するすべてのユーザーに設定が適用されます。

“ユーザーログインが必要”ボックスにチェックを入れると、ユーザーがソフトウェアを開くたびに、コンピュータの通常のオペレーティングシステムのログイン画面が表示されます。

このオプションを有効に設定したユーザーによってロックされ、このユーザーだけが無効にでき、その時点で個々のユーザーが以前と同様に設定を変更できます

これらの変更を有効にするには、ソフトウェアを今すぐ再起動する必要があります。  
このウィンドウに戻ると、次のページのイメージのように見えることが分かります。

これらの設定はすべて共通のコンフィギュレーションディレクトリに保持され、  
個々のコンフィギュレーションディレクトリが参照されないことが分かります。

共通のコンフィギュレーションディレクトリは次のとおりです：

C:\Program\Axicon\Camera

検証機及び個々のコンフィギュレーションディレクトリは

C:\Users\{User Name}\AppData\Local\Axicon\Camera です。

コンフィギュレーションを制御するユーザーは、設定ファイル (acvgui.ini) に他のユーザーの書き込みの権限を追加することもできます。

つまり、他のユーザーに共有設定を変更する権限を与えることはできますが、  
すべてのユーザーの共通コンフィギュレーションの使用を変更することはできません。

設定メニューの“詳細設定”タブには新しい監査ログオプションがあります。

これにより、すべての設定の変更、スキャン及びキャリブレーションのログが csv ファイルに作成されます。  
場所を参照して証跡を保存し、“CSV にエクスポート”をクリックして監査ログを表示します。